

## 第38回日釣連グレ釣りトーナメント大会 3位 三重県釣連盟 富屋 創一郎



6月4日に開催された日釣連グレトーナメント家島大会に三重県代表として出場させていただきました。

1回戦は松崎さん、新川さんとの対戦。



ジャンケンで勝ち、一番左の船着からスタートしました。まずは足元を丁寧にとると、マイクロサイズのコッパグレが次々とヒット。

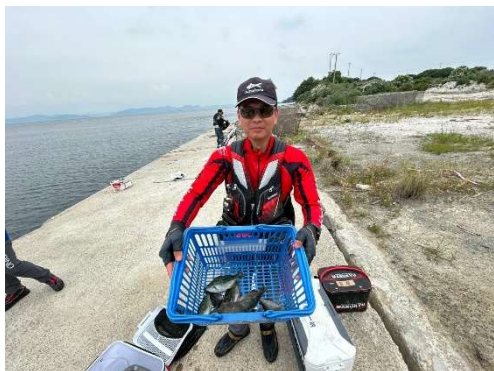
規定尾数を揃えることを優先しながら釣りを進めました。一方、マキエの先端では25cm オーバーの良型も反応し、6枚ほど追加できました。

続いて本命と考えていた先端へ移動。しかし右から左へ流れる激流に苦戦し、際のおぐれ付近で20cm オーバーを数枚追加するのが精一杯。最後のポイントでも状況は変わらず、手前で数枚拾って終了となりました。25cm 級を規定数揃えることはできませんでした。何とか1回戦を突破できました。



準決勝では、1回戦の検量を見て小型主体の展開になると判断。1号ハリスに2号針の組み合わせで、マイクロサイズをサイトフィッシングで狙いました。その作戦が

うまくはまり、9 枚を揃えて決勝へ進出できました。



決勝は野尻さん、神吉さんとの対戦です。



再びジャンケンに勝ち、一番左の釣り座を選択しましたが、この判断が結果的には裏目に出ました。1 か所目は小型ばかりで5枚ほどしか釣れず、さらに取り込み後に竿先を岩へ当てて穂先を破損。

約 10 分のタイムロスとなり、苦しい立ち上がりでした。

2 か所目では気持ちを切り替え、足元から丁寧に探って 10 枚を確保。その後は沖の良型狙いへ切り替え、少しずつ差を詰めることができました。

迎えた最後のポイントでは、遠投した仕掛けに大型魚がヒット。しかし一発でラインブレイクとなり、勝負を分ける一尾を逃してしまいました。



結果は野尻さん、神吉さんが 3645g、私は 3585g。わずか 60g 差で 3 位となりました。

振り返れば、釣り座の選択や穂先の破損など反省点も多く、負けるべくして負けた大会だったと思います。



それでも決勝まで勝ち上がり、多くの経験と課題を得られたことは大きな収穫でした。



最後になりますが、対戦していただいた選手の皆様、大会運営に携わってくださったスタッフの皆様に心より感謝申し上げます。この経験を糧に、次回はさらに上位を目指して頑張ります。

